

令和8（2026）年度

徳島大学大学院医科栄養学研究科（博士後期課程）

# 第1次学生募集要項

（がん専門栄養士養成コースの募集を含む）

（一般・社会人・私費外国人留学生）

徳島大学

(注) 徳島大学大学院医科栄養学研究科博士前期課程から引き続き学内進学する者は、留学生も含めて「進学者選考要項」で出願すること。

## ～入学者選抜の対応について～

本入試に関する最新情報は、徳島大学医学部ホームページ（下記 URL）を御確認ください。

[https://www.tokushima-u.ac.jp/med/admission/graduate\\_school/](https://www.tokushima-u.ac.jp/med/admission/graduate_school/)

# 令和8（2026）年度 徳島大学大学院医科栄養学研究科（博士後期課程） 第1次学生募集要項

## ◆徳島大学大学院のアドミッション・ポリシー

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、卓越した学術および文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

### ●博士後期課程及び博士課程

- ・広い視野と高度な専門知識・技能を身につけ、自立して研究を遂行し後進を指導する能力、又は当該専門的な職業を牽引できる卓越した能力を修得しようとする人
- ・高い倫理観と強固な責任感、独自の発想力や豊かな創造力、広範な応用力、深い洞察力をもって、地域と国際社会の発展のために高度に貢献しようとする人
- ・高度な国際的視野を有し、世界をリードする研究成果を発信し、高度専門分野を牽引しようとする人

## ◆医科栄養学研究科博士後期課程のアドミッション・ポリシー

医科栄養学研究科博士後期課程では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、生命科学および医学に基づいた栄養学のより高度な専門知識をもち、日本国内にとどまらず世界において、人々の健康の保持・増進に寄与することができる、次のような人を求めています。

### ●求める人物像

- ・これまでに習得した高度な専門知識や技術を臨床の場で応用・発展させることのできる管理栄養士
- ・国内外の行政機関で、習得した高度な専門知識や技術を生かした栄養施策を企画・立案し、社会福祉に貢献したい人
- ・栄養生命科学に関する国内外のより専門性の高い研究・教育機関で活躍することをめざす人

## ◆医科栄養学研究科博士後期課程医科栄養学専攻のアドミッション・ポリシー

医科栄養学専攻では、生命科学および医学に基づいた栄養学のより高度な専門知識をもち、日本国内にとどまらず世界において、人々の健康の保持・増進に寄与することができる、次のような人を求めています。

### ●求める人物像

（知識・技能、関心・意欲）

- ・医学に立脚した高度な専門知識と技術を有し、応用・発展させることのできる管理栄養士をめざすとともに、社会情勢を鑑み将来、栄養生命科学に関する国内外のより専門性の高い研究・教育機関等で活躍し、社会に貢献することをめざす人

（思考力・判断力・表現力等の能力）

- ・幅広い視野と柔軟な感性を有し、今までの知識・技能をもとに思考を深めて適切に判断かつ表現し伝えることができる人

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

- ・今までに培った自分の意思や判断力を駆使し、問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれること無く、相手の立場や多様性を尊重しながら互いに協力出来る人

## ●入学者選抜の基本方針

### 一般入試

- ・個別学力試験では、主として栄養生命科学分野に関する語学力を含めた知識・技能を評価します。
- ・面接は、プレゼンテーション、試問試験を含み、主として知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

### 特別入試（社会人）

- ・個別学力試験では、主として栄養生命科学分野に関する語学力を含めた知識・技能を評価します。
- ・面接は、プレゼンテーション、試問試験を含み、主として知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。その他に、社会人大学院生としての志望動機、就学環境、大学院修了後のビジョンについても評価します。

### 私費外国人留学生

- ・指導教員の推薦書では、主として栄養生命科学分野に関するこれまでの学習状況、専門的な知識・技能の修得状況、学習・研究意欲について評価します。
- ・口頭試問では、主として知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。その他に、日本語運用能力についても評価します。

## I 募集人員

専攻名	定員	今回募集人員
医科栄養学	9人	7人

上記の募集人員には、「がん専門栄養士養成コース」若干名を含みます。

## II 出願資格

入学を志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び令和8（2026）年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8（2026）年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8（2026）年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8（2026）年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年）文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 学校教育法施行規則第156条第6号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、令和8（2026）年3月31日までに24歳に達している者（注を参照）

注1）出願資格(8)の認定について

- ① 「修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」とは、次のア又はイに該当し、かつ、ウの要件を充たす者であること。又はエに該当する者であること。
  - ア 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第7項の規定により、学士の学位を授与された後、栄養学関係の分野で4年以上の業務経験があること。
  - イ 大学を中途退学した者（2年以上在学した者に限る。）並びに短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校の卒業生その他の教育施設の修了者等で、中途退学又は卒業等をした後、栄養学の関係分野で6年以上の業務経験があること。
  - ウ 著書、学術論文、学術講演及び学術報告等において修士の学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者であること。
  - エ 大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者、又は学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（医学、歯学又は獣医学を履修した者に限る。）
- ② 該当する志願者は、事前審査が必要となりますので、「最終学歴の卒業等証明書」、「入学試験出願資格認定審査調書（本研究科所定の用紙）」及び「研究業績調書（本学所定の用紙）」に論文の別刷等を添付し、令和7（2025）年7月4日（金）までに蔵本事務部医学部学務課第一教務係（大学院業務担当）に提出してください。

なお、ア、イに該当する志願者は、それぞれ4年以上又は6年以上の「業務経験を証明する書類（企業等の人事課長、社長等の証明するもので様式は随意）」を併せて提出してください。

注2）社会人入試

- (1)~(8)のいずれかに該当し、病院、学校、行政機関、企業及び教育研究機関等に職員として勤務し

ており、入学後もその身分を有するか、又は入学後に身分を有し、勤務（予定）先の所属長の受験許可を得た者とします。

注3）私費外国人留学生入試

(1)～(8)のいずれかに該当し、日本語又は英語が理解できる者とします。

### III 出願期間と受付場所

- 1 出願期間 令和7（2025）年7月22日(火)から令和7（2025）年8月5日(火)まで（土曜日、日曜日、祝日を除きます。）  
受付時間は、毎日午前9時から午後5時まで。  
郵送、持参とも8月5日(火)午後5時までに必着のこと。
- 2 受付場所 〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18番地の15  
徳島大学蔵本事務部医学部学務課第一教務係（大学院業務担当）  
（電話 (088) 633 - 9649)

注1）応募に際しては、あらかじめ志望分野指導教授に照会のうえ出願してください。

注2）安全保障輸出管理について

徳島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「徳島大学安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合があります。願書の提出の前に指導教員予定者と相談をするなど、出願にあたっては注意してください。

詳細については以下の研究支援・産官学連携センターのホームページを参照してください。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/ip/yusyutsukanri/>

### IV 出願手続

1 提出書類等

入学願書	所定の用紙に必要な事項を記入したもの（最近撮影した正面、脱帽、上半身縦5cm、横4cmの写真を貼ること。）
受験票 写真票	最近撮影した正面、脱帽、上半身縦5cm、横4cmの写真を貼ること。
修士論文等	修士論文又はそれに相当する研究成果の要旨（2,000字程度）
成績証明書	出身研究科等の長が作成した成績証明書
修了証明書等	ア 博士前期課程（修士課程）の修了（見込み）証明書 イ 学位（修士）授与証明書（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から修士学位を授与されたもの）
検定料	日本国内に居住する者は本要項に添付の払込用紙に検定料30,000円を添えて、最寄りのゆうちょ銀行及び郵便局窓口で払い込んでください。郵便局の領収の押印を得て、「検定料払込証明書（出願用）」を添付の台紙に貼って出願手続書類と一緒に提出してください。 日本国外に居住する者は、徳島大学ホームページ内の「留学生ポータル」 <a href="https://www.tokushima-u.ac.jp/isc/admission/">https://www.tokushima-u.ac.jp/isc/admission/</a> からインターネット出願をすることにより、クレジットカードで検定料を支払うことができます。ただし、本学大学院博士前期課程または修士課程を修了し、引き続き進学する者及び国費外国人留学生は不要。
受験許可書	現在大学院に在学中の者及び官公庁、会社等に在職中の者は、その所属長の受験許可書（様式随意） 社会人入試で受験する者は、所定の様式による。

外国人住民登録証明書等	本邦に在留する外国人は、住民登録証明書及び研究指導教員等の推薦書を添付すること。
返信用封筒	110円切手を貼り、自己の住所氏名を明記したもの(願書を直接持参する場合は除く。)
あて名票	合格通知書等送付用で受験者の郵便番号、住所、氏名を明記したもの。

## 2 手 続

- (1) 入学志願者は、出願手続に必要な書類をそろえ、出願期間内に必着するように提出してください。
- (2) 上記出願書類を郵送する場合は「書留」とし、封筒に「大学院医科栄養学研究科博士後期課程入学願書在中」と朱書きするとともに、一般、社会人、私費外国人留学生の別も明記してください。

## V 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力検査、口頭試問、出身研究科等の長から提出された成績証明書等を総合して判定します。

### 1 学力検査等

- (1) 日時・学力検査科目等  
(一般入試・社会人入試)

年月日(曜日)	検 査 科 目	時 間
令和7(2025)年 8月22日(金)	外国語科目(英語)※注	午前9時から午前11時まで
	口頭試問(研究発表と質疑応答)	午後1時から午後5時まで

※注 外国語科目(英語)の出題範囲は、栄養学・生命科学及び自然科学関連分野とします。

### (私費外国人留学生入試)

年月日(曜日)	検 査 科 目	時 間
令和7(2025)年 8月22日(金)	指導教員の推薦書	午後1時から午後5時まで
	口頭試問(語学を含む)	

- (2) 場 所 徳島市蔵本町3丁目18番地の15 徳島大学蔵本キャンパス内

- 2 口 頭 試 問 修士論文又はそれに相当する研究成果を中心として約15分以内の口頭発表を行い、それに関連して専門科目に及ぶ試問を行います。

※注 大学院博士後期課程の口頭試問の際の発表スライドについて

- (1) 口頭試問での各自の研究内容の発表は、液晶プロジェクターにより行います。  
コンピューターは大学で準備します。各自のコンピューターの持込みは認めません。
- (2) 口頭試問で使用のコンピューターは、Windows PC(OS Windows 10)で行いますので、Mac用のPowerpointで作成した人は、Windows PCで表示しても文字化けなど起こらないことをあらかじめ確認し、スライド書類の予備コピーも必ず作成しておいてください。
- (3) 午前中の学力試験終了後、各自の研究内容のスライド原稿を保存したUSBディスクまたはCD-R(受験者の氏名と受験番号を記載したもの)を担当者に渡してください。

- ア 日 時 令和7（2025）年8月22日(金)午後1時から。  
イ 場 所 徳島市蔵本町3丁目18番地の15 徳島大学蔵本キャンパス内

- 3 成績証明書 出身研究科等の長が作成した証明書を審査し、選抜判定の資料とします。

## VI 障がいのある入学志願者について

本研究科に入学を志願する者で、障がいのある者は、受験上及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、令和7（2025）年7月4日(金)までに蔵本事務部医学部学務課第一教務係（大学院業務担当）まで申し出てください。

## VII 合格者発表

合格者の発表は、令和7（2025）年9月3日(水)午前10時に医学部掲示場に掲示するとともに、合格者には本人あて文書により通知します。

なお、電話による合否についての照会には応じません。

## VIII 入学手続

入学手続期間及び入学手続の詳細については、おって通知します。

## IX 入学金・授業料

- 1 入 学 料 282,000 円（予定額）
- 2 授 業 料 前期分 267,900 円（予定額）年間 535,800 円（予定額）
  - (1) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
  - (2) 入学金及び授業料は現行の金額であり、改定されれば改定額が適用されます。

## X 育 英 資 金

独立行政法人日本学生支援機構より大学院生の若干名に対し、月額 80,000 円又は 122,000 円の奨学金貸与の制度があります。

## XI そ の 他

- 1 入学願書受付後は、検定料の払い戻しはしません。
- 2 その他の経費（医学部後援会費等）として、入学手続の際に約 37,000 円が必要です。
- 3 募集要項を郵便で請求するときは、320 円切手を貼った自己あて（住所、氏名、郵便番号明記）の返信用封筒（角 2 封筒 33.2cm × 24.0cm）を同封の上、本学蔵本事務部医学部学務課第一教務係（大学院業務担当）へ申し込みしてください。（請求の際は「医科栄養学研究科博士後期課程学生募集要項請求」と明記してください。）
- 4 出願手続等についての質問があれば、110 円切手を貼った自己あて（住所、氏名、郵便番号明記）の返信用封筒を同封の上、本学蔵本事務部医学部学務課第一教務係（大学院業務担当）へ照会してください。

# 令和7年度 徳島大学大学院医科栄養学研究科担当教員研究分野

令和7年6月1日現在

分野名	職名	氏名	研究分野
応用栄養学分野	教授	瀬川博子	(1) 分子腎臓栄養学 (2) リン代謝調節機構の基礎研究から臨床応用への基盤づくり (3) 成長・老化を制御するマルチミネラル栄養学の確立 (4) 新規健康増進因子の探索
生体栄養学分野	教授 講師	二川健 内田貴之 中尾玲子 (研究休職中)	(1) 宇宙生物学と宇宙栄養学 (2) 分子筋病学 (3) 筋肉代謝と栄養 (4) ミトコンドリアと鉄代謝
食品栄養学分野	教授	赤川貢	(1) 食品因子の健康機能性に関する研究 (2) 新規機能性食品因子の探索とその作用機序の解明 (3) ピロロキノリンキノンの栄養化学的研究
代謝栄養学分野	講師	野村和弘	(1) 臨床栄養研究(栄養治療と機能性栄養素) (2) 糖尿病、肥満、サルコペニアなどのモデル動物を用いた基礎・応用研究 (3) 効果的な運動療法の開発 (4) 臓器間代謝ネットワークの解明
予防環境栄養学分野	教授 講師	高橋章 馬渡一諭	(1) 食中毒と腸管細菌感染症の制御に関する研究 (2) 腸管でのミネラル分泌吸収機構 (3) 腸内細菌叢と栄養代謝に関する研究 (4) 臨床研究を中心とした新しい栄養管理法の開発
臨床食管理学分野	教授 講師	竹谷豊 増田真志	(1) 慢性腎臓病とミネラル代謝に関する研究 (2) 食品・栄養素の新規機能の探索 (3) 心不全モデル動物を用いた基礎・応用研究
実践栄養学分野	教授 講師	酒井徹 中本真理子	(1) 栄養と免疫機能に関する研究 (2) 徳島県特産食品の栄養機能に関する研究 (3) 栄養と健康に関する疫学研究
疾患治療栄養学分野	教授	瀧田康弘	(1) 栄養サポートチームに関する研究 (2) 臨床栄養に関する臨床研究 (3) 慢性腎臓病における Protein Energy Wasting

分野名	職名	氏名	研究分野
素材応用学分野 〔連携〕	客員准教授	小竹 英一	(1) 食品素材機能成分の腸管吸収・排泄・代謝 (2) 食品素材成分の機能性と作用機構
機能設計生産学分野 〔連携〕	客員准教授	松木 順子	(1) 糖質系食品素材の特性解析 (2) 食品機能性評価技術の開発 (3) 糖質系素材の構造制御による付加価値賦与技術の開発
治療栄養学研究分野 〔連携〕	客員教授	武田 伸一	筋ジストロフィー及び筋萎縮症の分子病態に関する研究情報を収集させ、その内容を議論することにより独立して研究を行うための基礎能力を養う。分子治療学と栄養学の観点から、筋ジストロフィー及び筋萎縮に対する分子栄養学的な治療開発に関する最新論文を精読させ、研究開発能力を養うための指導を行う。
宇宙栄養学分野 〔連携〕  宇宙航空研究開発機構 (JAXA)と 徳島大学 宇宙栄養研究センター とも連携	客員教授	東 端 晃  三 上 靖 夫  坪山(笠岡)宜代	(1) 宇宙栄養学を含む宇宙生物学全般についての研究 (2) 藻と線虫を利用した無重力ストレスの生体の応用等解析 (1) リハビリテーション医科学 (2) 宇宙環境による筋萎縮などに有効な運動療法に関する研究 (1) 災害栄養学 (2) 宇宙食など特殊環境の食事に関する研究
栄養化学分野 〔連携〕	客員教授	遠藤 彬 則	(1) 蛋白質分解に関する研究全般 (2) オートファジーと栄養に関する研究

徳島大学大学院医科栄養学研究科（博士後期課程）入学願書（令和8年度）

	1 次
	2 次

入試区分	一般入試・社会人入試・私費外国人留学生入試 (○で囲んでください。)			受験番号	※
ふりがな					
氏名	男・女				
	生年月日	昭和 平成	年	月	日生
志望分野	第一				
	第二				
	第三				

写真貼付  
(縦5cm 横4cm)

令和8年度 徳島大学大学院  
医科栄養学研究科(博士後期課程)  
**受 験 票**

受験番号	※	
氏名		
志望分野	第一	
	第二	
	第三	

写真貼付  
(縦5cm 横4cm)

募集要項を取り寄せてください

受験資格	年 月	大学	学部	学科 専攻	卒業
	年 月	大学大学院	教育部 研究科	課程	修了 修了見込
大学の卒業・業職後歴	年 月～	年 月			
	年 月～	年 月			
	年 月～	年 月			
	年 月～	年 月			
現住所	〒	—	都道府県	郡市	町 方
	電話	局市外局番 ( )	—	—	番
受信場所	〒	—	都道府県	郡市	町 方
	携帯電話	—	—	—	番
	メールアドレス				

令和8年度 徳島大学大学院  
医科栄養学研究科(博士後期課程)  
**写 真 票**

受験番号	※	
氏名		
志望分野	第一	
	第二	
	第三	

写真貼付  
(縦5cm 横4cm)

※印欄は記入しないこと。

(注) 必要事項を記入し、該当事項を○で囲むこと。(※印欄は記入しないこと。)  
緊急連絡時に必要であるため、携帯電話番号及びメールアドレスを必ず記入してください。

受験番号	※
------	---

## 受験者心得

- (1) 受験の際は、常に所持すること。
- (2) 学力試験の際は、机の上に置き、論文口頭発表、面接試験、その他必要なときは係員に提示すること。

# 募集要項を取り寄せてください

受験 番号	※
----------	---

## 受験許可書（社会人入試）

氏名

昭和  
平成

年 月 日生

上記の者が、令和8年度徳島大学大学院医科栄養学研究科博士後期課程（社会人入試）の入学試験を受験することを許可します。

募集要項を取り寄せてください

令和 年 月 日

徳島大学大学院医科栄養学研究科長 殿

所在地

所属機関

所属長

⑩

※欄は、記入しないでください。

受験 番号	※
----------	---

令和 8 年 度  
徳島大学大学院医科栄養学研究科（博士後期課程）  
入学試験出願資格認定審査調書

氏名		現職	
生年月日(年齢)	昭和 平成	年 月 日生( 歳)	現住所
学 歴			
年 月 日	事 項		
職 歴			
年 月 日	事 項		
学会及び社会における活動等			
年 月 日	事 項		

募集要項を取り寄せてください

※印欄は記入しないこと。

徳島大学大学院医科栄養学研究科



# 研究業績調書 (その2)

氏名 \_\_\_\_\_

第一志望	分野	第二志望	分野	第三志望	分野	受験番号	※
学術論文、研究発表・報告、特許等の名称				発行又は発表の年 月 日	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称		備考(共著者名又は共同発表者名)

募集要項を取り寄せてください

- (注) 1 年代順に記載のこと。また、学術論文等は、別刷又は写を添付すること。  
2 ※欄は、記入しないこと。

## 検定料の払い込みについて

- 1 検定料を払い込む場合は、必ずこの払込用紙を使用して最寄りのゆうちょ銀行及び郵便局の窓口から払い込んでください。  
(ATMは、使用しないでください。)
- 2 検定料を払い込む際には、払込用紙のすべての志願者欄に氏名等を記入の上、切り取り線から払込用紙を切り取り、ゆうちょ銀行及び郵便局の窓口へ検定料に手数料を添えて提出してください。(払込用紙は3連式ですので、切り離さないでください。)
- 3 検定料を払い込んだ際には、日附印が押印された「検定料払込証明書(出願用)」を必ず受領してください。
- 4 「検定料払込証明書(出願用)」は、「検定料払込証明書」の指定の欄に貼付して願書に添付して提出してください。
- 5 この払込用紙の「振替払込請求書兼受領証」をもって国立大学法人徳島大学の領収証書に代えさせていただきますので、別に領収証書を送付することはありません。

# 募集要項を取り寄せてください

切り取り線

口座記号番号	016300	0
加入者名	国立大学法人 徳島大学	
払込金額	千 百 十 万 千 百 十 円	3 0 0 0 0
志願者住所氏名	* おなまえ	
日 附 印		

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

口座記号番号	016300	0
加入者名	国立大学法人 徳島大学	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円	3 0 0 0 0
志願者	* おなまえ	
料 金	(消費税込み) 円	
備 考		
日 附 印		

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

切り取らないで郵便局にお出しください。

00	口座記号番号	016300	0	金額	千 百 十 万 千 百 十 円	3 0 0 0 0
加入者名	国立大学法人 徳島大学					
通 信 欄	令和8年度医科栄養学研究科(博士後期課程) 検定料					
志願者	* おところ(郵便番号)					
日 附 印	様					
備 考	* おなまえ (電話番号)					

各票の※印欄は、志願者において記載してください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)承認番号徳第4381号  
これより下部には何も記入しないでください。

# 募集要頂を取の寄世てください

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理します  
ので、金額を記入する際は、枠  
内には書き込みを記入してくだ  
さい。また、金額を消したり、  
折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙による、払込料金は、  
ご依頼人様が負担することとな  
ります。
- ・ご依頼人様からご提出いただき  
ました払込書に記載されたおと  
ころ、おなまえ等は、加入者様  
に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠と  
なるものですから大切に保管し  
てください。

収入印紙  
5万円以上  
貼付

印

この場所には、何も記載しないでください。

医科栄養学研究科(博士後期課程)  
第 次 志 願 者 用

受験番号

※

## 検 定 料 払 込 証 明 書

「検定料払込証明書（出願用）」貼付場所

募集要項を取り寄せてください

(注) ※印欄は記入しないこと。

# あて名票

合格通知等を受け取る住所、氏名、郵便番号を3箇所記入すること。  
団地・アパート等に居住している者は、棟番号、戸番を入れ、間借りをしている者は、「〇〇様方」と詳しく記入すること。  
なお、出願後、又は合格発表後、住所変更した場合は、速やかに届け出ること。

合格通知等用→

住所

氏名

殿

受験番号 (大学記入欄)

募集要項を取り寄せてください

合格通知等用  
(準備：上記と同じ)  
あて名を記入すること

住所

氏名

殿

受験番号 (大学記入欄)

入学手続案内用→  
※必ず受け取ることが  
できる住所を記入すること

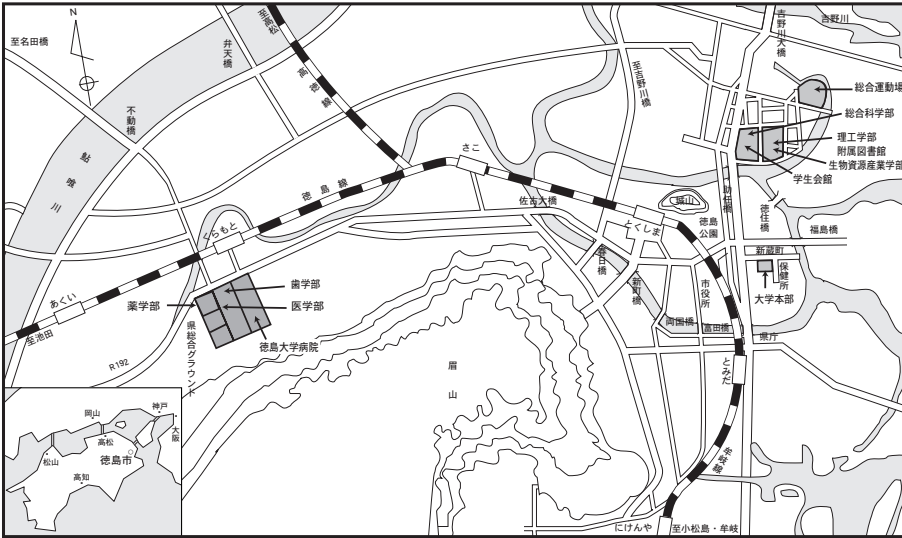
住所

氏名

殿

受験番号 (大学記入欄)

# 【徳島大学位置図】



## 交通アクセス

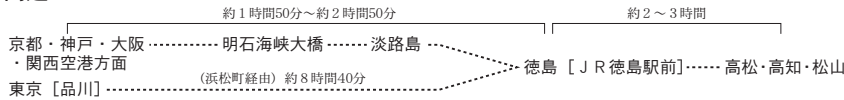
### ◎航空機



### ◎鉄道



### ◎高速バス



### ◎フェリーポート



### 交通アクセス



徳島市営バス乗場案内 (JR徳島駅から試験場へ)

のりば	行先	備考
1	中央循環線 (右回り) 上点喰	「県立中央病院・徳島大学病院前」 下車 徒歩 3分 又は「総合メディカルゾーン」 下車 徒歩 2分
	名東、地藏院、天の原西 (延命)	「医学部前」 下車 徒歩 2分

徳島駅から医学部まで・・・約4km

## 【徳島大学蔵本地区建物配置図】

